

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	飯田市営駐車場事業				財務会計上の位置付け	会計	7	款		項		目		細目		細々目		19予算額(千円)	
部等名	危機管理部 課等名 防災交通課				包含する細々目														
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心して快適なまちづくり																		
施策	42 交通安全の推進																		
実施区分	継続	会計	駐車場	環境調整会議	関連計画 条例等	飯田市営駐車場条例・飯田市営駐車場条例施行規則													
		事業期間	14	年度～		18	年度												

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	買物・観光・娯楽及び通勤等で旧市を訪れる自動車利用者	収容台数(一般)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	296	296	23年度以前に終了は終了年度とする
		収容台数(月極)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	127	127	
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
	利用者に喜ばれ利用しやすい駐車場、かつ、地域の活性に寄与する駐車場の運営(違法駐車等の排除を含む健全な駐車場事業の確保)	年間利用台数(一般)	18目標	395000	最終目標		
			18実績		19目標	400000	↑
		23目標	400000	23実績		最終目標達成年度	
		年間利用台数(月極)	18目標	500	最終目標		
			18実績		19目標	500	↑
		23目標	500	23実績		最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値	
	違法駐車を排除して、安全で快適な道路環境と交通流の確保並びに車両利用者の駐車場確保の容易性・利便性を図るとともに、地域の活性に寄与した健全な駐車場の実現を図る。	18年度の実績	防犯面での対応の強化 ・中央駐車場の防犯カメラ増設(2期工事) 施設の整備 ・本町駐車場の入出路部分の改修検討	年間利用台数 月極め利用台数	431275 43
		19年度計画	防犯面での対応の強化 ・中央駐車場の防犯カメラ増設(3期工事) 施設の整備 ・本町駐車場へのプリペイドカード自販機設置検討 ・本町駐車場自動精算機更新について検討 ・本町、扇町駐車場満車時における周辺道路の渋滞緩和方法の検討	年間利用台数 月極め利用台数	400000 40

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	66,600	66,600
	一般財源		
事業費計(A)	66,600	66,600	
人件費	正規職員所要時間	18年度	19年度
	臨時職員等所要時間	0	
	人件費計(B)	0	0
	トータルコストA+B	66,600	66,600

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	交通事故の被害を軽減する	交通事故での死傷者数	現状値	814	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	700
	人身事故の発生件数	人身事故の発生件数	現状値	641	19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標	550	

<p>この事業を開始したきっかけ</p> <p>現在の各市営駐車場の開設は、駅西平成4年10月、駅前平成5年7月、本町平成13年7月、扇町平成18年10月である。</p> <p>交通事故防止を目的として、道路交通の安全と円滑を図るための道路環境の整備(違法駐車車両の排除)のため。</p>	<p>事業を取り巻く状況の変化</p> <p>平成18年10月の扇町駐車場の供用開始に伴い、市営駐車場の一般駐車場の収容台数は296台と整備され、引き続き、利用料金も1時間以内を無料として、利用者へのさらなる利便サービス向上を図っている。</p> <p>また、一般駐車場(時間貸し)のほかに、月極の飯田駅西駐車場(駐車台数110台)と扇町駐車場(駐車台数52台のうち月極め17台)を運営している。</p>	<p>事業に対する市民や議会の意見</p> <p>違法駐車排除の要望或いは駐車場増設の意見が寄せられている。</p>
---	---	---

【See】18年度の振り返り

<p>目的 妥当性 評価</p>	<p>この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？</p>	<p>(評価) 結びつく (その理由) 違法駐車の数減らすことにより良好な道路環境が保持される。</p>	<p>有効性 評価</p>	<p>成果をさらに向上させる余地はありますか？</p>	<p>(評価) 余地がある (その理由) プリペイドカード自動販売機設置個所や、駐車サービス券売り捌き場所の増設等による駐車場利用者の利便性の向上及び適切な場内維持管理により快適なサービスを提供することにより利用台数の増加を図る。</p>
	<p>対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？</p>	<p>(評価) 必要性がない (その理由) 中心市街地における駐車スペースの確保を実現しており見直しは必要がない。</p>		<p>廃止・休止した場合の影響はありますか？</p>	<p>(評価) 影響あり (その理由) 250台余の駐車スペースが失われることによる違法駐車増大及び中心市街地の小売や飲食店への影響は大きい。</p>
	<p>意図の見直しの必要性はありますか？</p>	<p>(評価) 必要性がない (その理由) 中心市街地における駐車対策のためであり見直しは必要ない。</p>		<p>他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？</p>	<p>(評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)</p>
	<p>市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)？</p>	<p>(評価) 必要ある (その理由) 中心市街地の駐車場不足に対応するためであり、また、民間による時間単位の駐車場は建設は当面望めないため。</p>		<p>効率性 評価</p> <p>成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？</p>	<p>(評価) 不可能 (その理由) 具体的な運用については既に機械化による無人24時間営業を行っている。</p>
			<p>公平性 評価</p>	<p>受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？</p>	<p>(評価) 妥当である (受益者とその理由) 駐車場利用者である。なお、本町駐車場はりんご庁舎来庁者の駐車場として利用されており公共性はより高い。時間貸しの3駐車場は、最初の1時間は無料、その後は30分に100円の課金制度をとっており民間駐車場との均衡を考慮すると妥当な料金設定であると考えられる。</p>

【Plan】改革改善

<p>今後の事業の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>実施年度 </p> <p>↑ 具体化 ↓</p> <p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p>	<p>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</p>
--	-----------------------------

【補足事項環境側面】

<p>(1) 環境影響評価の必要性判断</p>	<p>必要がある</p>	<p>(2) 必要性な場合の実施事由</p>	<p>2- 内部監査で指摘のあったとき</p>
<p>(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？</p>	<p>県地球温暖化対策条例に基づき駐車場内でのアイドリングストップの看板設置</p>		

【指摘事項】

<p>施策マネジメント会議</p>	
<p>施策評価会議</p>	
<p>第5次基本構想基本計画推進委員会</p>	